



第 24 号

発行日/2019年12月18日

発行/公益社団法人 米沢有為会

我妻榮記念館

〒992-0045

米沢市中央3-4-38

TEL・FAX 0238-24-2211

唄孝一先生と

我妻榮記念館のことなど

公益社団法人 米沢有為会 会長
前国立国会図書館長

大 滝 則 忠

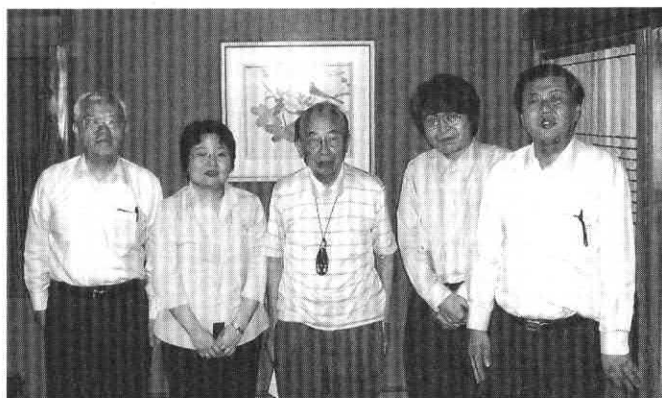
数々の先達の熱意がバトンタッチされて、我妻榮記念館の歩みが重ねられていることは極めて貴重です。そして今後、どうあるべきか。昨年度から、米沢市当局と米沢有為会が同じテーマで、

ブルに着いて、我妻榮記念館将来計画検討委員会が始まっており、可能な限り今後を見通すべく、取り組んでいます。本誌読者の皆様からも、ご意見等をお寄せいただきたいと思います。



大滝則忠会長

先達の中で、私がここに記録するのは、唄孝一（はい・こういち）先生（大正13〜平成23）のご貢献です。唄先生は記念館で、実地に我妻先生旧蔵文書類の整理に当たられました。そのうちの平成16



資料整理協力チーム、右から藤巻、高橋、唄先生、小澤の各氏と筆者（平成16年6月27日）

年6月の思い出は、私にとって今も鮮烈です。同月26日開催の米沢有為会文化講演会で、唄先生が「医師と患者の新しい関係」と題して講演。その翌日、私は記念館に先生を訪問、半袖シャツに半ズボン姿の先生が奥から

出てこられて迎えてくれました。暑い日で、弟子のお三方、小澤直子・藤巻和広（東京から）、高橋良彰（山形大学）の各

氏と共に、首にタオルを巻いた作業姿。当時、この唄先生はじめ4氏が記念館の資料整理協力チームの構成でした。その夕の米沢牛の一席、翌日の蕎麦屋での昼食と、先生を囲む歓談の風景が忘れられません。先生は近くのビジネスホテルに連泊で、記念館の仕事を続けられました。

我妻榮先生旧蔵の書籍・文書類は、昭和48年没後、東京大学（法学部と東洋文化研究所）、山形県立図書館、そして我妻榮記念館の順で分散継承されました（唄孝一「我妻榮先生の文書・記念館のことなど」、平成15）。唄先生は、我妻先生の生前から一部史料整理に係り、先生没後直ぐに、長男洋先生からの電話要請で、旧蔵文書類の整理に関わり始めた

「資料縁」について書き残しています。我妻榮先生の生誕百年記念講演会で、同じく講師をつとめた次男堯先生の「血縁」、遠藤浩先生の「地縁」に対し、あえて「学縁」と言わず「資料縁」と自称しています。平成16年6月講演の冒頭で「私は米沢に何回も参っておりますが、今まで専ら我妻先生の記念館のこと、資料のことばかりで。何故こうなったか：我妻先生のお使いになった資料やお書きになったものに触ったり偲んだりすることが何ともいえず好きだからです。先生を尊敬しておることとは言うまでもありませんが、仕事をしておるということも忘れて：米沢の中に溶け込むような気持ちでおります」（『米沢有為会々会誌』、平成16）と話されるなど、唄先生のお人柄が実に良く窺えます。

（2Pにつづく）

唄孝一先生
(明治大学ELMホームページから)

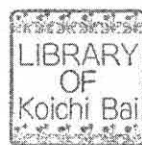
(1Pよりつづき)

平林勝政兄(後に國學院大學法科大学院長・医事法)が、私と東京教育大学の同級生という縁からです。昭和50年4月から2年間の国立国会図書館派遣のロンビア大学(ニューヨーク)東アジア図書館から復帰直後には、唄先生が弟子の皆さんと共に帰国歓迎食会を催してくれました。唄先生は昭和51年秋、法律専門ジュリスト誌に、「死ぬ権利」「安楽死事件」の先駆けとして世界的に注目された「カレン事件」の州裁判所判決を取り上げました。日本国内では判決文を入手できなかったため、私が現地で調査して郵送し、論文末に「本稿の資料については：在米中の友人太滝則忠氏から多大な協力を得た」と特記いただいたことは、弟子の同級生を「友人」と呼んでいた光栄と共に、図書館人冥利に尽きることでした。

その後の精力的な活躍の日々、唄先生から早朝の出勤前の自宅にしばしば電話をいただき、「東大や最高裁の図書館で自ら調べたが見つからなかった。探してくれないか?」という相談で、碩学からの謙虚な要請には、最優先で応えようという気持ちにさせられました。

晩年の唄先生の関心事は、膨大な収集資料群の最終的な落着

き先でした。我妻先生旧蔵の書籍・文書類が分散された現実と接した経験に基づく思いからか



唄先生の蔵書印

もしれません。結局、唄先生の孫弟子の「学縁」で晩年の唄先生のお人柄に直接に接した小西知世先生という推進力があり、唄先生逝去の前後、明治大学法学部の一室に「ELM(エルム)法・医・倫理の資料館」の開設が準備されました。「ELMは、医事法学を一つの学問分野として確立した唄孝一先生が生前収集された医事法学・生命倫理学に関する様々なアーカイブス(書籍、公文書...)が基礎資料」と案内にあります。ELMは、唄先生の理念を継承し、広く大学内外に公開されており、「法律研究者のみならず、医学界・法曹実務界との連携を含めて、医療・生命倫理に関する領域の総合研究機関としてわが国の医事法学研究の拠点となることをめざして、諸活動を展開」する(ELM館長・村上一博明治大学法学部長)とされ、まさに唄先生が最も望んだであろう形が実現されています。明治大学の取組みに心からの敬意を表する次第です。唄先生はELM開館の動きを確認して、平成23年に長逝されました。

先日、明治大学ELMを訪問、所蔵資料中に昭和50年からの在米時代に私が送った唄先生宛の複数の書簡までも含まれていることに驚き感激する一方、改めて唄先生との「資料縁」をありがたく感じました。ELMには、我妻先生と唄先生との「資料縁」さらには我妻榮記念館関係の未見史料が含まれている可能性もあり、調査させていただく必要があります。

我妻榮記念館の歩みにおいて、唄孝一先生という得難い碩学のご貢献があったことを伝える記録のひとつに、この寄稿が役立つことができれば幸いです。



我妻先生(左)とご一緒の若き日の唄先生

多くの方々よりいろいろなものを ご寄贈いただきました

昨年度から今年度にかけて、多くの方々よりいろいろなものをご寄贈いただきましたので、ここに紹介し御礼申し上げます。

られたもので、我妻榮先生の著作13点です。

また、滝澤様からご寄贈いただきました「改正民法余話」は、榮先生の直筆入りで大変貴重な一冊となっております。

伊藤様、手塚様からはそれぞれ座机、本棚をご寄贈いただきました。

手塚様からの本棚につきましては、重機を使つて二階の勉強部屋まで搬入するところまでやっていただきました。

龍谷大学からの團藤名誉教授のノートの写しは、団藤教授が東大生のころの我妻榮先生の講義の内容であり、我妻先生がどのように講義を行っていたかを知るうえで大変貴重なものです。

まことにありがたく、感謝申し上げますとともに大切に保管管理し、ご来館の方々にご覧いただけるように展示を行ってまいります。本当にありがとうございます。

栗原様からご寄贈いただきました書籍は、元裁判官でありられたお父上様がお使いにな

【我妻榮教授「民法二部」
龍谷大学(京都)

令和元年11月 故團藤重光東大名誉教授の東大生時代のノートの写し

令和元年10月 本棚
市内川井(株)マルコー
エンジンアリング社長
手塚孝一様

令和元年9月 座机6脚
市内通町・伊藤浩様

令和元年9月 書籍
改正民法余話 東京都・

滝澤美恵子様

平成31年2月 書籍
担保物権法他12冊

市内堀川町・栗原珠美様

我妻榮先生の小冊子をいただきました

我妻榮記念館運営委員
興讓小学校教頭

山田 隆 弘

私が、興讓小学校に入学し小学校四年生の時、我妻榮先生にご来校いただきました。壇上に立たれた先生は、お優しいおじいさんという感じで、今でもお話を聞いていたお姿を覚えています。そして、その日、『まがき文庫』が創設されました。（第22号掲載・神保委員執筆）

以来、我妻榮先生のお名前は、

文庫の存在とともに興讓小学校児童（卒業生）の脳裏に深く刻まれ続けています。私が高学年の頃には、二番目の図書館ができたということ、多くの級友たちがこぞつてまがき文庫の部屋に行き、本をお借りした記憶があります。その読書のおかげにより一層文学や日本語に親しむようになったのではないかと思います。

思います。

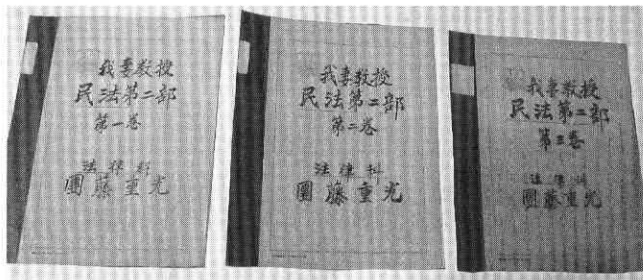
矢尾板館長(右)より上村小学校校長会長へ贈呈

興讓小学校では、毎年六年生の児童が我妻榮記念館をお訪ねし、館長さんや運営委員の方々より先生の業績やエピソードをお伺いし、学習しています。しかし、五年生以下の児童は先生のご実績にふれる学習環境がなかなかない状況でした。

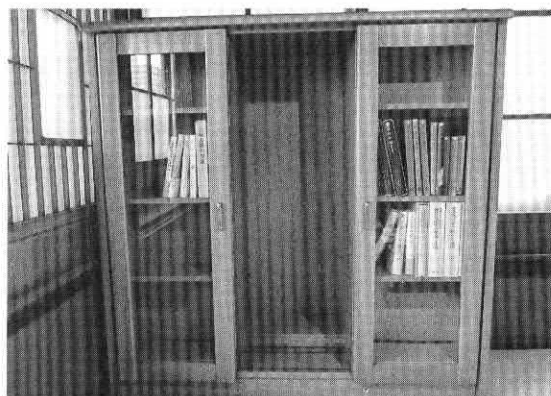
今年、我妻榮先生のエピソードを紹介する小冊子『故郷を愛した民法学者 我妻榮先生』を市内の小学校五年生に贈呈していただきました。六つのエピソードが紹介され、先生の略年表が巻末に記載されています。早速興讓小学校の五年生の児童に読ませたいところ、じっくり内容を味わいながら読んでいました。

令和元年度の主な出来事・行事など

年度	年月日	曜日	出来事・行事など	摘要
平成30年度	平成31年2月3日	日	担保物件法（民法講義Ⅲ）岩波書店他12冊受贈	米沢市堀川町 栗原珠美 様
平成31年4月30日	火	鈴木安蔵記念館設立のための調査団来館	吉原泰助元福島大学学長、金子勝立正大学名誉教授等5名	
令和元年6月16日	日	自願奨学財団奨学生証書交付式・清掃奉仕・館長講話	父兄とも28名	
令和元年8月19日	月	團藤文庫研究プロジェクトメンバー視察（京都龍谷大学）	プロジェクトメンバー12名 記念館・有為会4名	
令和元年9月2日	月	我妻榮著「改正民法余話 新しい家の倫理」受贈	滝澤美恵子様（東京都豊島区）	
令和元年9月11日	水	副読本配布セレモニー：関根小学校	5年生5名	
令和元年9月12日	木	副読本配布セレモニー：小学校校長会	5年生723名	
令和元年9月21日	土	座卓（6脚）受贈	通町七丁目 伊藤浩様	
令和元年10月1日	火	副読本配布セレモニー：関小学校	5年生2名	
令和元年10月1日	火	本棚受贈	マルコーエンジニアリング 手塚孝一様	
令和元年10月20日	日	新社会党東日本平和運動交流集会	40名	
令和元年11月15日	金	團藤重光氏（東大名誉教授）の大学時代のノート⑨受贈	龍谷大学 福島至教授	
令和元年11月25日	月	松岬受賞者会で講演	「我妻榮先生について」37名	
令和元年12月7日・8日			大原簿記学校生徒に対する講演（県南自動車学校にて）	154名



故團藤重光東大名誉教授のノートの写し



ご寄贈いただいた本棚と本
2階勉強部屋

来館者のコーナー

* 初心にかえって勉強しなおします。 J・S

* 一つのことをつきつめることができるようになりたいです。 Y・M

* 法曹になって二年がたちますが、先生の功績には遠く及ばないと実感しております。これからは頑張ります。 69期 O

* 堆肥型の人間になれるよう精進します。 69期 O

* 法律における理屈と人情を忘れず、これからも頑張ります。 T・O

* 先生の息遣いを感じられるお宅に参り幸せです。再訪し先生の息遣いを感じました。ダットサン民法、民法案内など先生のご著書を担当させていただいている光栄を感じております。

* 堆肥の様な裁判官になります。東京地裁 T・T 他 5 名

* 法曹になる予定はありませんが、社会人として人間として共通の大切なことが学べたと思います。ありがとうございます。 K・O

* 春から社会人になりますが、我妻先生のように努力を惜しまず、常に誰かのためになるよう頑張ります。 T・A

* 国境を越えて法律学の精神を広めます。

* 榮さんは素晴らしい方だと思います。僕も榮さんのような人になってみたいです。 小 6 T・K

* こんなすごい人が米沢にいると知らなかったので、驚きました。 小 6 S・N

* 先生の研究の空気を間近で感じられ、自身の勉学について励みになりました。 I・S

* 「井戸を掘れ」はなるほどと思いました。深い教養の下で発せられた言葉は非常に参考になりました。 R・S

* 学ばねばならないことが多く、まとめきれませんが、何をすべきか、どうあるべきかを深く考える素晴らしい時間となりました。今より前に進めたと思ったタイミングで、再び伺いたく思います。平成最後の日に伺えて本当に良かったです。 Y・K

入館者

平成4年度	312名	平成5年度	560名
平成6年度	635名	平成7年度	543名
平成9年度	791名	平成11年度	492名
平成14年度	172名	平成15年度	333名
平成16年度	423名	平成17年度	465名
平成18年度	434名		
平成19年度	393名		
平成20年度	425名		
平成21年度	440名		
平成22年度	360名		
平成23年度	232名		
平成24年度	486名		
平成25年度	484名		
平成26年度	480名		
平成27年度	243名		
平成28年度	463名		
平成29年度	444名		
平成30年度	488名		

施設利用者

353名
463名
414名
315名
367名
353名
338名
515名
337名
517名
488名
505名

(平成27年度、5月15日から9月30日まで劣化改修工事のため閉館)

* 先生の素晴らしい実践を知れて来館してとてもよかったです。時間のある時また来たいです。 T・S

* 法律を通して世界のために貢献したいと気持ちを新たにしました。 T・T

* 2020年に民法債権法が改正されます。先生はどのように感じられるのでしょうか。 D・A

* 合宿の休養中に来ました。井戸を掘ります。迷ったらまた来ます。 S・S

* 我妻先生の研究時間を知り驚きました。我妻先生であっても（先生だからこそ）そのくらい勉強してるのなら、と嘆息しました。 S・T

* ここを訪れるたびに法律を学ぶ勇気もらえる気がします。いつまでも生家が維持されるようお祈りいたします。 S・S

記念館のスタッフ

よろしく願いいたします。

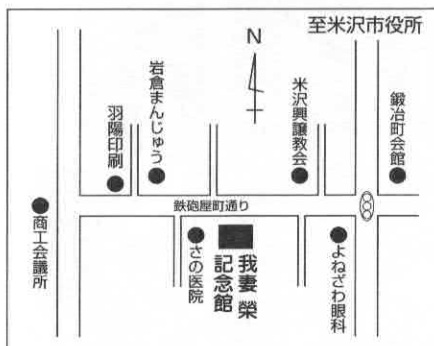
名誉館長	我妻 勘
顧問	上村 勘
館長	矢尾 勘
運営委員	本多 和
運営委員	安部 節
運営委員	高橋 悦
運営委員	佐藤 隆
運営委員	神山 隆
運営委員	山田 隆
管理人	手塚 正

開館日のご案内

日曜日、月曜日、木曜日、金曜日を開館日とします。

開館時間帯は午後1時から4時まで

入館料 無料



〒992-0045 米沢市中央3-4-38
TEL・FAX0238-24-2211

我妻榮記念館

検索